

「月桃の花」歌舞団
新作ミュージカル



私はここだ!

絵：山内若菜

Hope is in ourselves

大阪公演 **11/8 (土)** 18:30 開演 (開場 18:00) 上演時間 約2時間 (エイサー含む)

チケット前売料金

※当日料金はそれぞれ 500 円 UP

高校生以下	500 円
学生・障がい者・非正規	1000 円
一般	2000 円

主催：大阪公演実行委員会

☎ 090-3275-7312 (森)

後援：大阪市教育委員会

クレオ大阪東ホール

JR・京阪 京橋駅から徒歩 10 分

同時開催

パレスチナ写真展

11/8(土)11:00-18:00

クレオ大阪東ギャラリー 参加無料



げっとうのはな かぶだん
「月桃の花」歌舞団

☎ 06-6885-8475

✉ info@gkabudan.jp

生きづらさを抱えたすべての人へ届ける 希望を見つける物語

<あらすじ>

石田さくらは保育士を目指して日々必死にアルバイトで学費と生活費を稼ぐ専門学生。ある日、同居している父親がコロナに感染してしまう。医療崩壊の中、なんとか訪問看護師の仲村ゆりに診てもらったが、なすすべもなく父親は亡くなってしまう。さくらと兄の駿は「沖縄の海に散骨してほしい」という父親の遺言を謎に思うが、突然現れた怪しげな老夫婦に声をかけられて沖縄に飛ばされてしまい…!?

それぞれに生きづらさを抱えた若者たちが毎日を必死にやり過ごしている姿と沖縄戦を重ね合わせ、生きていくことへの希望を描いたミュージカルです。



◆『私はここだ！ Hope is in ourselves』…直訳すると、「私はここだ！ 希望は私たち自身の中にある」というものです。劇中にある一つひとつの言葉、そして挿入歌は、現在を生きる若い団員の様々な経験や願いから削り出され、ともに話し合い、一つのシナリオとして創り出されたと聞きました。

◆自らの“生きづらさ”を仲間や友人に語ることには、想像を超えるエネルギーと勇気、信頼が必要とされます。人を分断し、孤立させ、個人に責任を求めることをシステム化している社会の中で、「生きづらさは社会構造の中で作りだされたもの」と言い切らなければならないからです。

◆何のために働き、何のために生きているのか…。その時、「私はここだ。ここに在るのが私だ！」と叫ぶ。その瞬間からそれは独りのものではなく“私たち”の希望となる。時空を超え、沖縄戦で命を奪われた住民、パレスチナの子どもたち、年金暮らしのおじいさん、おばあさん、そして若者たち…すべてを結ぶ。「月桃の花」歌舞団の若い皆さんは、希望をともに創り出すことに挑戦しています。

大阪市城東区公演実行委員長 山川よしやす

「月桃の花」歌舞団

映画「GAMA-月桃の花」に込められた「命どう宝（命こそ宝）」を世界の人たちに伝えていこうと、1997年に結成。エイサー（沖縄の太鼓）や三線（さんしん）、合唱やミュージカルなど、さまざまなジャンルがある劇団。

歌舞団員を募集しています！

ミュージカルのキャスト、エイサー、バンド、衣装、大道具、小道具など、歌舞団員を募集しています。少しでも興味がある方、未経験の方も大丈夫です。見学も大歓迎です！

☎ 06-6885-8475 □ info@gkabudan.jp

公開リハーサル 入場無料！

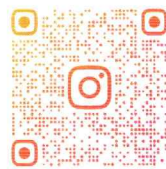
10/5（日）14:00-16:00

鳴野会館（JR/京阪 京橋駅から徒歩 10分）

（大阪市城東区鳴野西 1-18-11）



YouTube



@GETTOUNO_HANAKABUDAN